

Title	紙・パルプ業界における業務提携及び合併の経営成果に関する実証研究
Sub Title	
Author	岩隈春生(Iwaguma, Haruo) 村井俊雄
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	1981
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	複写許諾が必要
Genre	Thesis or Dissertation
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0125">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00001981-0125</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

学生氏名 岩 隈 春 生 主査 村 井 俊 雄 教授  
(エッソスタンダード石油株式会社) 副査 小 林 規 威 教授  
所属ゼミナール 村 井 俊 雄 研 青 井 倫 一 助教授

“紙・パルプ業界における業務提携および  
合併の経営成果に関する実証研究”

本論文は、企業が他企業との関係を強化することによって経営効率の改善を図ることが可能か、という問題意識の下に紙・パルプ業の同業者間の業務提携・合併をとりあげ、これを実証的に研究したものである。紙・パルプ産業は、差別化がむずかしく技術格差の少ない洋紙・板紙を商品としている素材産業である。固定費比率の高い装置産業で、複雑な流通機構をもち、原材料の海外依存度が高い。この条件に加え、販売シェアの上位集中度が低くプライス・リーダー企業がいくつ、競争が激しく好・不況を繰り返してきた。この環境の中で合法的不況カルテル、行政指導による生産調整が実施される一方、個々の企業による業務提携・合併が生残り策としてとられてきた。本論文は、この環境下で1965-1977年の間になされた業務提携の短期的、長期的な成果および合併の長期的成果を、株価および会計的指標を用いて実証分析したものである。その結果は、業務提携は、短期的・長期的成果は、売上高伸率の向上はあるが収益力の改善には寄与していないことがわかった。